

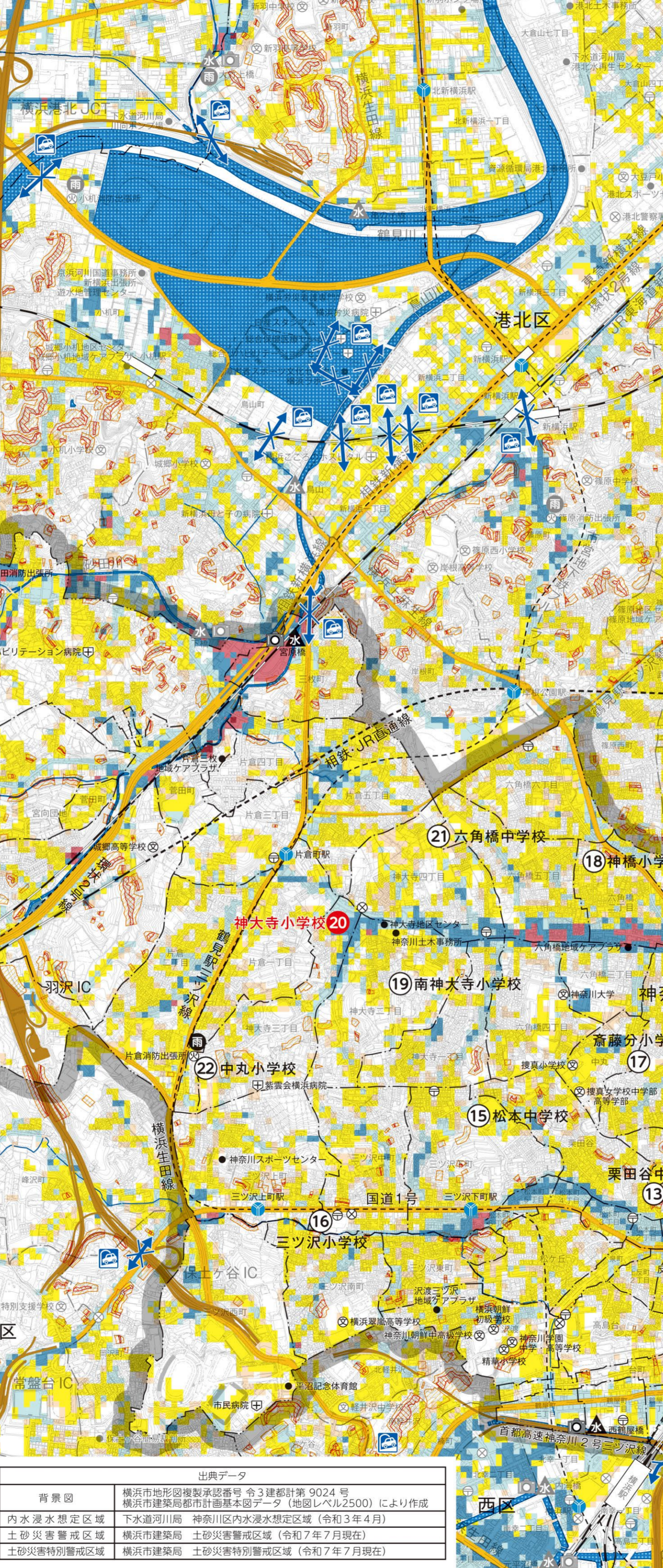
神奈川区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市下水道河川局下水道計画課が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



風水害時における避難場所について

◇災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
 ◇2か所以上の避難場所へ避難できる場合、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
 ◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところへ避難してください。

なお、神奈川区では浸水時の避難場所として、下記に示した指定緊急避難場所を優先して開設します。

特別警報級の台風が横浜市に上陸、接近する場合	①子安小学校、②浦島丘中学校、③神奈川小学校、④幸ヶ谷小学校、⑤神大寺小学校、⑥羽沢小学校
一般的な規模の台風が横浜市に接近する場合	⑦浦島丘中学校、⑧神奈川小学校、⑨神大寺小学校

神奈川区では、避難指示や避難場所の開設状況など、情報を収集できる自動音声案内を導入しています。 電話:050-3196-3300

指定緊急避難場所一覧 (切迫した災害の危険から逃れるための場所)

◇指定緊急避難場所とはあくまでも避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
 ※指定緊急避難場所:災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
 災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	子安小学校	新子安1-36-1	H-5	⑬	栗田谷中学校	栗田谷3-1	F-6
②	錦台中学校	西寺尾3-10-1	H-4	⑭	青木小学校	橋畑17	F-6
③	西寺尾第二小学校	西寺尾2-15-1	H-4	⑮	松本中学校	三ツ沢下町30-1	E-6
④	西寺尾小学校	西寺尾2-5-1	H-4	⑯	三ツ沢小学校	三ツ沢中町4-17	D-6
⑤	大口台小学校	大口仲町460	G-4	⑰	高藤分小学校	高藤分町34-1	F-5
⑥	神奈川中学校	西大口141	G-4	⑱	神大寺小学校	六角橋2-34-19	E-5
⑦	浦島丘中学校	白幡東町27-1	G-5	⑲	南神大寺小学校	神大寺2-9-16	E-5
⑧	白幡小学校	白幡上町11-1	F-4	⑳	神大寺小学校	神大寺3-34-1	D-5
⑨	神奈川小学校	東神奈川2-35-1	G-6	㉑	六角橋中学校	六角橋5-33-1	E-4
⑩	幸ヶ谷小学校	幸ヶ谷1-1	F-6	㉒	中丸小学校	神大寺3-17-1	D-5
⑪	二谷小学校	平川町11-1	F-6	㉓	菅田の丘小学校	菅田町1386-2	B-4
⑫	浦島小学校	浦島丘16	G-5	㉔	旧菅田小学校	菅田町674	B-4
				㉕	羽沢小学校	羽沢町935	C-5

凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

2.0m以上	1階の軒下以上
1.0~2.0m	床下浸水相当
50cm~1.0m	1階の軒下まで
20~50cm	床下浸水相当
2~20cm	道路冠水相当
2cm未満	道路冠水相当

※洪水ハザードマップ・高水ハザードマップの浸水深とは、浸水階級差が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入する場合は、注意して通行してください)
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生したときに、崩壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危険を生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危険を生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒体制の整備が行われます。

◎河川、遊水池

都府界	主要道路
市区界	指定緊急避難場所
町丁界	雨量観測所
JR線・駅	水位観測所
私鉄線・駅	河川監視カメラ
市営地下鉄線・駅	下水道事業計画区域*
高速道路・有料道路	

*※海岸部の灰色で着色した区域については下水道事業計画区域外のため、内水浸水想定区域の対象外となります。

想定条件

1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
 必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

出典データ

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建計第9024号
内水浸水想定区域	横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
土砂災害警戒区域	下水道河川局 神奈川区内水浸水想定区域(令和3年4月)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和7年7月現在)
	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和7年7月現在)

要配慮者利用施設等の確認はこちらから

